

11月6日(火)

本日は 10:00 から広大附属幼稚園を訪問しました。まず園内を見学し、4、5歳児が遊ぶアスレチックに行き、交流しました。自ら考えて木の実や枝を使って物を作る様子や、簡単な英語のあいさつができる子どもたちに対して、「とても教育がいきわたっていて自国の幼稚園とは違う」と驚いた様子の研修者もいました。その後、園長、副園長からこの幼稚園に関する講義があり、園の環境や目指す教育像を発表していただきました。工夫、特徴としては、自然を生かした活動を実施していること、ESD を目指した教育を行っていること、大学と連携をして行う研究成果の公開を国内外からのゲストにしていることなどが挙げられました。この発表に対して「すばらしい幼稚園だからもっと多くの子どもが通えたらよい」という意見も出ました。訪問のリフレクションでは、①学んだことで興味深かったこと、②問題だと思ったこと、の二点についてディスカッションを行いました。興味深かったこととしては、子どもたちに創造性があり自発的に遊んでいたこと、幼稚園や高校、大学間のつながりがあることが興味深かったことなどがあげられました。また問題としては、次の段階である小学校教育へのつながりがない、大学との連携研究はいいと思うがそれをどう実際の教育に生かすのか考えていくべきといったことがあがりました。



午後の櫻井里穂先生からのレクチャーは”An Introduction to Evidence-Based Research in Education: Roles of Research for Policy Formulation”の題の下で行われました。ケニアを事例として、研修員の実際の役割であるリサーチャーとポリシーメーカーふたつの視点から教育の現状や成果、課題が話し合われました。講義では研修員から積極的に質問や意見が飛び交い、活発な議論がなされていました。